



九月定例俳句会

二百十日過ぎいて民の憂いあり
 過疎なれど平穩の町厄日過ぐ
 この先は通れませんよ風祭り
 二百十日想定外とは何事ぞ
 研修を早々辞する厄日なり
 うかうかと二百二十日も過ぎにけり

幌延ほおずき俳句会

- | | |
|----|-----|
| 熊谷 | 千恵子 |
| 横山 | 貞雄 |
| 三浦 | 宮吉 |
| 佐藤 | 光朗 |
| 富樫 | とも子 |
| 田中 | 徹男 |

櫻井大穂くん

(平成28年2月26日生・字幌延)
 お父さん 彰孝さん
 お母さん 美和さん



わが家の第二子。
 お姉ちゃんと遊ぶのが大好き。
 よく笑い、よく泣き、元気いっぱいです。



秘境駅：問寒別駅

～今月の駅ノート～

今月は、駅舎が補修され好評な問寒別駅の「駅ノート」をご紹介します。



問寒別駅を通過する特急サロベツ号

「宗谷本線駅巡りの旅2日目。19:07の名寄行最終で来ました。この駅に前回降り立ったのは5年前。その時は、駅舎はまだ青と白のツートンカラーで、電気もつかず、その中で半袖でガタガタ震えて駅寝したことを覚えています。

ところが、今日来てみてどうでしょうか。駅舎の壁は綺麗に補修されており、内部には駅の歴史や地区の活動が展示されているではありませんか。掃除も行き届いていて大変居心地良いです。

3月のダイヤ改正で宗谷本線名寄以北は大幅な減便が行われ不便化が進みましたが、そのような状況にあっても地域をアピールしようとする取り組みには心打られました。この問寒別駅には未長く残ってほしいです。

それでは、本日この駅で一泊させていただきます。 京都市左京区 A. T <取材記者・プチ鉄Y>

最初の文面を見たとき、この方はどこに泊まるのだろう…、と疑問符がたくさん出てきましたが、ちゃんと寝床はあったようですね。

いつまでも思い出に残る旅は素晴らしい人生の一コマになるものです。皆さまのおもてなしの心で、幌延町は旅人の心に残る旅先として輝いていることでしょう。

問寒別駅をいつもきれいにお手入れしてくださっている皆さま、本当にありがとうございます。

ほろのべの裏窓

■みんなで囲んでつき合うお鍋、フーフーしながら頬張る肉まん、体の芯までじんわり温まるおでん…。食欲の秋は去れども、思わず舌鼓を打ってしまう食べ物とともに冬がやってまいりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

■10月は、幌小・幌中・問小3校の学芸会・学校祭がぎゅぎゅっと詰まったひと月でした。プログラムはどれも見応えのあるものばかりでしたが、なかでも特に印象に残ったのは、問小

の姉弟二人による表現です。二人の日常がいかに楽しいものであるか、二人が問寒別の人たちからいかに愛されているかが伝わってきました。それと同時に、同年代が少ないことへの不安や悩みなど、二人が発する切実なメッセージに、観客も胸を打たれている様子でした。子どもたちの明るい毎日を守っていきたい、そう感じさせる、心揺さぶられる表現でした。

【総務財政課総務グループ】

● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ●

総務財政課総務グループ

電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811

秘境駅の里「ほろのべ」

鉄道フォトコンテスト

カメラコース入選5作品のうち1つは、さいたま市在住の山田 昌太郎 様の作品「雪晴れの利尻富士を望む」が選ばれました。

【カメラコース 入選】



<<雪晴れの利尻富士を望む：山田 昌太郎 様>>

「撮り鉄」さんと呼ばれる鉄道写真愛好家の皆さまに有名な撮影ポイント「雄信内俯瞰」から撮影された一枚です。

冬の名物「宗谷ラッセル」をここから撮影するため、小高い場所まで冬道を登っての撮影です。

利尻富士と一緒に撮りたいがため、何日も粘り、何年も通い続ける人も多いとか…。

幌延町には「撮り鉄」さんポイントがたくさんあるようです。

皆さんも列車がカッコよく見えるポイントを探してみたいかがでしょうか？

(平成28年8月 末日現在)
 ※ () 内は前月比

男	1,242(-1)
女	1,173(+1)
計	2,415(±0)
世帯数	1,272(±0)

